

令和3年度 東京都立南多摩中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 文章を深く読み、その内容を的確に捉えた上で、自己の思考や判断を加え、論理的に説明する力をみる。
- (2) 資料を活用して自らの考えを導き出し、正確に表現する力をみる。
- (3) 物事を多面的に捉え、様々な考えを広く受け入れた上で、よりよく解決するための方法を見出す力をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

- (1) 出題の方針  
与えられた文章を的確に分析・考察するとともに、課題に対する考えや意見を明確かつ論理的に表現する力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
  - ・ 大問を1問とし、小問3問で構成する。
  - ・ 文章の内容を分析・考察し、自己の思考や判断を加えて的確に表現する力をみる。
  - ・ 文章の内容を的確に捉えた上で、課題に対する考えや意見を300字以上400字以内で明確かつ論理的に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

- (1) 出題の方針  
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
  - ・ 大問を3問とし、小問6問で構成する。
  - ・ 九九の表を題材とし、言葉・数・式などを用いて論理的に考え表現する力、数理的に考察・処理する力、図形の構成について思考・判断する力をみる。
  - ・ 木材資源を題材とし、複数の資料から読み取った情報を関連付け、それを活用して考察し、的確に表現する力をみる。
  - ・ 身近な磁石を題材とし、実験の記録と磁石の性質を結びつけて考察し、的確に表現する力をみる。